

Ⅱ 調査結果の概要

1 暮らし向き

問1 暮らし向き

- ・ 「良くなった」 4.6% [「かなり良くなった」 0.7%+「すこし良くなった」 3.9%]
- ・ 「悪くなった」 35.5% [「かなり悪くなった」 9.6%+「すこし悪くなった」 25.9%]
→ 「悪くなった」は、自営業 (56.8%) で最も多い。
- ・ 「変わらない」 58.8%

◆令和元年調査 (以下「前回調査」という。) と比較…「悪くなった」が4.6ポイント増加し、「良くなった」が3.4ポイント減少し、「変わらない」が1.0ポイント減少。

問1-1 暮らし向きが悪くなった理由

- ・ 「収入が減った (働き手が減った)」 40.3%
→男女共に最多。農林漁業 (60.0%) で特に多い。
- ・ 「日常の生活費が増えた」 30.8% →今治圏域及び主婦で多い。
- ・ 「特別事情による (結婚、出産、病気、災害など)」 10.7%
→宇和島圏域及び主婦で多い。

◆前回調査比…「収入が減った (働き手が減った)」が自営業で20.1ポイント増。

問2 暮らし向きの変化

- ・ 「良くなった」… [「電気器具、家具、自動車など耐久消費財」 5.9%、「貯蓄」 5.3%、「通勤や買物の便利さ」 5.1%]
- ・ 「悪くなった」… [「貯蓄」及び「レジャー・余暇生活」 47.7%、「所得・収入」 40.5%]
- ・ 「変わらない」… [「住宅」 79.3%、「道路など公共施設による便利さ」 79.1%、「通勤や買物の便利さ」 77.5%]

◆前回調査比…「悪くなった」が「住宅」を除いて増。

問3 暮らし向きの程度

- ・ 「上」 0.3%
- ・ 「中」 76.5% [「中の上」 7.1%+「中の中」 38.3%+「中の下」 31.1%]
- ・ 「下」 14.0%

◆前回調査比…「上」が0.7ポイント減、「中」が3.8ポイント減。

問4 資産の程度

- ・ 「上」 0.5%
- ・ 「中」 64.9% [「中の上」 7.8%+「中の中」 27.4%+「中の下」 29.7%]
- ・ 「下」 22.6%

◆前回調査比…「上」が0.4ポイント減、「下」が0.4ポイント増。

問5 生活のゆとり感

- ・ 「かなりゆとりがある」 13.8% →70歳代以上及び主婦で多い。
- ・ 「少しゆとりがある方だと思う」 37.3%
- ・ 「あまりゆとりがない方だと思う」 34.3% →30歳代から50歳代及び勤め人で多い。
- ・ 「全くゆとりはない」 10.7%

◆前回調査比…「ゆとりがない」が1.1ポイント増。

問6 暮らしに対する満足度

- ・「満足している」65.9% [「十分満足している」10.3%+「十分とはいえないが、一応満足している」55.6%]
- ・「不満だ」31.2% [「まだまだ不満だ」24.2%+「きわめて不満だ」7.0%]

◆男女共、全年齢層及び全職種で「満足」が「不満」を上回っている。

問7 日常生活での悩みや不安

- ・「自分の健康について」59.3% →50歳代以上で多い。
- ・「老後の生活設計や家族の介護について」56.3% →50歳代及び60歳代で多い。
- ・「家族の健康について」55.0%
- ・「今後の生活費の見通しについて」47.8%

◆前回調査比…「家族の健康について」が2.4ポイント増。

問8 普段の生活で不足しているもの

- ・「収入」38.4% →男女共に（男性43.2%、女性35.3%）最多。自営業で特に多い。
- ・「自由に使える時間」13.0%
- ・「資産（土地、家屋、預貯金等）」11.5%
- ・「友人・仲間」6.1%
- ・「特にない」20.4% →70歳代以上及び農林漁業で特に多い。

◆前回調査比…「資産（土地、家屋、預貯金等）」が3.2ポイント増。

問9 自由時間と収入についての考え方

- ・「自由時間を減らしても、現在以上の収入を得たい」24.3%
→30歳代と自営業で多い。
- ・「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」47.5%
→勤め人で多い。
- ・「わからない」28.2%

◆前回調査比…「自由時間が減るくらいなら、収入は現在のままで良い」が0.3ポイント減。

問10 日常生活で充実感を感じる時

- ・「家族団らんの時」23.6% →30歳代から50歳代で多い。
- ・「趣味やスポーツに熱中している時」21.8% →男性で多い。
- ・「ゆったりと休養している時」20.9%

◆「ゆったりと休養している時」が平成27年調査以降増加傾向にある。

問11 暮らしの先行き観

- ・「良くなっていく」7.5% →30歳代（19.2%）で最多。
- ・「変わらない」40.1%
- ・「悪くなっていく」34.1% →60歳代（45.7%）で最多。
- ・「わからない」18.3%

◆前回調査比…「良くなっていく」が0.6ポイント減、「悪くなっていく」が1.4ポイント減。

問 12 改善したい暮らし向き

- ・ 「貯蓄」 33.6% →60歳代以下で最多。
- ・ 「旅行・レジャー・余暇生活」 20.1% →60歳代が多い。
- ・ 「食生活」 12.3% →70歳代以上が多い。
- ・ 「住宅」 7.0%

◆前回調査比…「貯蓄」が1.6ポイント増。「食生活」が2.4ポイント減。

問 13 今後の暮らしに対する考え方

- ・ 「物質的にはある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」 23.2%
→女性が男性より多い。60歳代以上が多い。
- ・ 「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」 20.6%
→男性が女性より多い。30歳代(36.0%)が多い。
- ・ 「一概にはいえない」42.0% →20歳代以下を除く全年齢層で最多。

◆前回調査比…「物質的な面」が1.4ポイント増。

問 13-1 「心の豊かさやゆとり」の具体的内容

- ・ 「健康を大切にする」 44.2%
- ・ 「家族・友人とのふれあいを大切にする」 25.4%
- ・ 「趣味や習い事に生きがいを見つける」 15.4%

◆前回調査比…「家族・友人とのふれあいを大切にする」が4.8ポイント減。

問 13-2 「物質的な面」の具体的内容

- ・ 「広くて設備の整った家に住む」 26.3%
- ・ 「耐久消費財（立派な家具、最新の自動車・電気器具など）のそろった快適な暮らし」 23.3%
- ・ 「趣味・娯楽に関する良いものを購入する」 18.1%

◆前回調査比…「広くて設備の整った家に住む」が6.6ポイント増。

2 広報・広聴

問 14 県の広報活動の周知度

- ・ 「テレビ広報番組」 41.9% →40歳代以下で最多。
- ・ 「広報紙『愛顔のえひめ』」 40.4% →50歳代以上で最多。
- ・ 「県ホームページ」 22.3% →40歳代及び50歳代、松山圏域が多い。
- ・ 「「愛媛県」公式 YouTube チャンネル、「愛媛県」公式 SNS ほか県の各種 SNS」 6.4%
→前回調査より5.6ポイント増。

◆前回調査比…「広報紙『愛顔のえひめ』」が4.6ポイント減。

問 15 県のテレビ広報番組の視聴経験

- ・ 「見たことがある」 36.8%
- ・ 「見たことがない」 63.2%

◆前回調査比…「見たことがない」が0.9ポイント増。

問 15-1 テレビ広報番組を見ての感想

- ・「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」36.4%
→前回調査より8.6ポイント増。
- ・「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」38.5%
→前回調査より9.5ポイント減。
- ・「番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい」13.1%
→前回調査より2.8ポイント増。
- ・「番組が画一的で、県の仕事や内容も分かりにくい」5.9%

問 15-2 見たことがない理由

- ・「放送されていることを知らなかった」61.3% →全年齢層で最多。
- ・「仕事の都合などで、現在の放送時間では見るができない」14.9%
→30歳代(28.4%)が多い。前回調査より30歳代で16.7ポイント増。
- ・「広報番組は画一的でおもしろみがなく、見る気がしない」13.6%

◆前回調査比…「放送されていることを知らなかった」が5.9ポイント減。

問 16 県のラジオ広報番組の聴取経験

- ・「FM みきゃんラジオ (FM愛媛)」3.8% →20歳代以下が多い。
- ・「週刊 みきゃんラジオ (南海放送ラジオ)」1.9%
→前回調査より0.7ポイント減。
- ・「どれも聞いたことがない」95.0%
→全年齢層及び全圏域で特に多い。

問 16-1 ラジオ広報番組を聞いての感想

- ・「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」27.6%
→前回調査より8.0ポイント減。
- ・「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」37.9%
→20歳代以下(66.7%)で最多。前回調査より9.6ポイント減。
- ・「番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい」13.8%
→70歳代以上(27.8%)が多い。
- ・「番組が画一的で、県の仕事や内容も分かりにくい」5.2%

問 16-2 聞いたことがない理由

- ・「放送されていることを知らなかった」55.6%
→全年齢層で最多。
- ・「仕事の都合などで、現在の放送時間では聞くができない」14.9%
- ・「広報番組は画一的でおもしろみがなく、聞く気がしない」6.1%
→前回調査より3.1ポイント増。

問 17 広報紙の周知度

- ・「知っていた」49.9%
→女性の方が男性より6.4ポイント多い。50歳代以上が多い。
- ・「知らなかった」50.1%

◆前回調査比…「知らなかった」が5.8ポイント増。

問 17-1 広報紙への関心度

- ・ 「全体をよく読んでいる」 15.5%
- ・ 「興味のあるところを選んで読んでいる」 46.1% →全年齢層で最多。
- ・ 「見出し程度しか読まない」 20.9%
- ・ 「ほとんど読むことはない」 13.2%

◆前回調査比…「興味のあるところを選んで読んでいる」が1.6ポイント増。

問 17-2 広報紙を見ての感想

- ・ 「紙面は見やすく、情報量も適当である」 57.1% →全年齢層で最多。
- ・ 「紙面は見づらいが、情報量は適当である」 11.5%
- ・ 「紙面は見やすいが、情報量が少ない」 16.4%
- ・ 「紙面は見づらく、情報量も少ない」 3.2%

◆前回調査比…「紙面は見やすいが、情報量が少ない」が3.0ポイント増。

問 18 広報紙で取り上げるテーマの希望

- ・ 「県の行事・イベント・施設の紹介」 58.2%
→男女共、自営業及び勤め人、60歳代以下で最多。
- ・ 「介護や福祉、医療に関すること」 48.5% →70歳代以上で最多。
- ・ 「消費生活や暮らしに関すること」 46.0%
- ・ 「災害対策に関すること」 30.5%
- ・ 「県の施策の紹介」 17.0%

問 19 県政情報の情報源

- ・ 「テレビ」 60.3% →全年齢層、全圏域で最多。
- ・ 「新聞」 36.0% →40歳代以下で特に少ない。
- ・ 「市町が発行している広報紙（誌）」 30.7% →60歳代以上で多い。
- ・ 「県の広報紙」 26.2%

◆前回調査比…「県のホームページ・インターネット放送局・県の各種 SNS（LINE、Facebook、Twitter、Instagram）」が10.3ポイント増。

問 20 今後の広報活動の取組み

- ・ 「県の広報番組（テレビ・ラジオ）の充実（放送回数や放送時間の増）」 58.8%
→40歳代以上、全職種及び全圏域で最多。
- ・ 「県の広報紙の充実（発行回数やページ数の増）」 33.0%
- ・ 「県のホームページ・インターネット放送局・県の各種 SNS の充実」 29.5%
→30歳代以下で最多。
- ・ 「刊行物、ポスター、パンフレットの充実（種類や部数の増）」 23.1%

問 21 県政について知りたい情報

- ・ 「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」 34.8%
→女性（37.5%）及び60歳代を除く全年齢層で最多。前回調査より5.2ポイント増。
- ・ 「県がこれから進めていこうと計画している仕事やその内容」 30.9%
→男性（35.5%）及び60歳代で最多。
- ・ 「県の行事や催しものなどのお知らせ」 26.1%
- ・ 「県の施設の紹介や利用方法」 23.0%

問 22 県民の声を県政に反映させる手段

- ・ 「県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する」 30.6%
→女性 (32.7%) 及び50歳代以上で最多。
- ・ 「世論調査やアンケート調査を随時的確に行う」 23.5%
→男性 (27.3%) で多い。30歳代及び40歳代で最多。
- ・ 「県民が郵送やファックス、電子メールなどで知事あてに意見や提案を行う制度を充実する」 9.3%
- ・ 「モニター制度を充実する」 9.1%

◆前回調査比…「県民が県の関係者と直接対話する機会を多くする」が3.4ポイント減。

問 23 県民の声の伝達方法

- ・ 「県に電話をかける」 24.2%
→男女共及び全年齢層で多い。農林漁業で特に少ない。
- ・ 「県庁や県の出先機関の窓口に出向く」 10.4% →農林漁業 (30.3%) で最多。
- ・ 「県庁に電子メールを送る」 10.4% →勤め人で多い。
- ・ 「市町を通じる」 8.4% →宇摩圏域及び八幡浜・大洲圏域で多い。
- ・ 「町内会・自治会、地元の有力者に頼む」 8.3% →宇和島圏域で特に多い。
- ・ 「わからない」 30.6%

◆前回調査比…「県庁に電子メールを送る」が2.7ポイント増。

問 24 県政出前講座の周知度

- ・ 「知っていた」 7.8% →70歳代以上で多い。
- ・ 「知らなかった」 92.2%

問 25 県政出前講座を利用したいかどうか

- ・ 「利用したい」 13.3% →70歳代以上で多い。
- ・ 「利用したいとは思わない」 23.2%
- ・ 「わからない」 63.5%

◆前回調査比…「利用したいとは思わない」が2.9ポイント減。

問 25-1 利用したいとは思わない理由

- ・ 「利用する時間がないから」 22.5% →30歳代、50歳代及び60歳代で最多。
- ・ 「県政に興味がないから」 17.0% →20歳代以下で多い。
- ・ 「講座は難しそうなイメージがあるから」 15.9%
- ・ 「設定されている講座テーマを知らないから」 15.9%

3 愛媛県のイメージ

問 26 現在の愛媛県のイメージ

- ・ 「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」 83.4%
→男女共、全年齢層、全圏域及び全職種で最多。
- ・ 「物価が安い」 25.1% →宇和島圏域及び自営業で少ない。
- ・ 「不便である」 24.1% →宇和島圏域 (42.1%) で多い。
- ・ 「文化、スポーツ活動が盛んである」 17.3%

◆宇摩圏域では「経済や産業が盛んである」(39.3%)が多い。

問 27 将来なっしてほしい愛媛県のイメージ

- ・ 「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」 55.6%
→男女共、60歳代を除く全年齢層、宇摩圏域を除く全圏域及び全職種で最多。
- ・ 「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」 44.5%
→女性の方が男性より14.9ポイント多い。
- ・ 「高齢者や障がい者にもやさしい」 28.2%
- ・ 「物価が安い」 24.3%

◆宇摩圏域では「経済や産業が盛んである」(40.0%)が多い。

4 県政への要望

問 28 県政への要望

A 産業面

- ・ 「雇用対策」 26.4%
→女性(28.8%)及び60歳代以下で最多。
- ・ 「道路整備」 22.9% →男性(25.7%)、70歳代以上及び宇摩圏域で最多。
- ・ 「農林業の振興」 15.2% →50歳代以下で少ない。
- ・ 「中小企業対策」 13.6%

◆前回調査比…「農林業の振興」は1.1ポイント増。

B 生活環境面

- ・ 「介護・福祉サービスの充実」 33.8%
→男女共、50歳代以上及び全圏域で最多。
- ・ 「医療、保健衛生機能の拡充」 16.4% →宇摩圏域で同率で最多。
- ・ 「物価・消費者保護対策」 14.5%
- ・ 「子育て支援対策」 13.9% →40歳代以下で最多。

◆前回調査比…「物価・消費者保護対策」は2.4ポイント増。

C 教育面

- ・ 「学校教育の充実」 33.1%
→男女共、50歳代以下及び宇摩圏域を除く全圏域で最多。
- ・ 「社会教育の充実」 20.2%
- ・ 「芸術、文化の振興」 14.8%
- ・ 「青少年の健全育成」 14.5% →70歳代以上で多い。

◆前回調査比…「学校教育の充実」は1.1ポイント減。

5 特定課題

【SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた取組み】

問 29 SDGs(持続可能な開発目標)の認知度

- ・ 「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」 36.6%
- ・ 「全く知らない」 29.6%
- ・ 「内容をある程度知っている」 25.8%
- ・ 「内容を知っている」 8.0% →20歳代以下(19.5%)で多い。

問 29-1 SDGsの認知している内容

- ・ 「世界共通の目標として推進していること」 76.6%
→60歳代以下で最多。30歳代 (91.7%) で特に多い。
- ・ 「目標の実現には、政府や県市町、企業だけでなく、私たち一人ひとりが「自分ごと」として考え、行動することが大切であること」 64.6%
→70歳代以上及び今治圏域で最多。
- ・ 「持続可能な開発を目指す上で経済、社会、環境の統合が重要であること」 56.3%
→20歳代以下 (68.9%) で多い。宇摩圏域 (68.4%) で最多。

問 30 SDGsの関心度

- ・ 「関心はあるが、どう取り組めばよいのかわからない」 47.5%
→男女共、全年齢層及び全職種で最多。
- ・ 「関心があり、今後取り組んでいきたい」 16.6%
- ・ 「関心はあるが、取り組む意向はない」 13.5%
- ・ 「関心があり、家庭や職場で取り組んでいる」 7.4%
- ・ 「関心はない」 15.0%

問 30-1 SDGsの取組み内容

- ・ 「食べ残しをしないなど、食品ロスを削減する」 81.2% →男女共、全年齢層及び全職種で最多。
- ・ 「マイボトルやエコバッグを持ち歩く」 69.9% →女性 (79.3%) の方が男性 (54.2%) より多い。主婦 (82.4%) で特に多い。
- ・ 「電気をつけっぱなしにしないなど、電気を節約する」 67.5%
- ・ 「海や川に行ったらゴミは持ち帰る」 66.2% →20歳代以下で少ない。
- ・ 「差別をしない」 62.0%

【自転車新文化の推進】

問 31 自転車新文化の認知度

- ・ 「知っている」 10.4%
- ・ 「内容は知らないが、聞いたことがある」 23.4% →70歳代以上で多い。
- ・ 「知らない」 66.2%

問 31-1 自転車新文化の普及・拡大に向けた県の取組み

- ・ 「自転車利用者が安全・快適に通行できる自転車通行空間の整備」 74.0%
→40歳代及び60歳代以上で最多。
- ・ 「交通ルールの遵守やマナー向上による自転車の安全利用の普及・啓発」 71.5%
→30歳代以下及び50歳代、宇摩圏域 (81.7%) で最多。
- ・ 「女性、高齢者、子ども、障がい者などの幅広い層への自転車利用の普及・拡大」 30.5%
- ・ 「自転車通学・通勤の促進による二酸化炭素排出削減等の環境問題への対応」 28.6%

【防災に関する意識】

問 32 災害に対する備え

- ・ 「飲料水、食料、生活必需品等の物資の備蓄」 39.1% →30歳代から60歳代で最多。
- ・ 「非常用持出品の準備」 35.5% →70歳代以上、今治圏域及び松山圏域を除く全圏域で最多。
- ・ 「ハザードマップの確認」 32.2%
- ・ 「避難場所や避難経路を決めている」 29.5% →70歳代以上が多い。

問 32-1 食料、水、生活必需品等備蓄しているもの

- ・ 「飲料水」 94.5% →全年齢層及び全圏域で最多。
- ・ 「食料」 75.7% →宇摩圏域で少ない。
- ・ 「感染症対策用品（マスク・消毒液など）」 57.4%
- ・ 「常備薬」 40.9% →70歳代以上が多い。

問 32-2 飲料水、食料の備蓄量

- ・ 「1日分」 13.2%
- ・ 「2日分」 24.2%
- ・ 「3日分」 40.3% →全年齢層及び全圏域で最多。
- ・ 「4日分」 6.2%
- ・ 「5日分」 6.4%
- ・ 「6日分」 2.3%
- ・ 「7日分以上」 7.4% →70歳代以上及び新居浜・西条圏域が多い。

問 33 災害発生時の早期避難

- ・ 「早期に避難する」 44.8%
→全年齢層及び全圏域で最多。20歳代以下で特に多い。
- ・ 「早期に避難したいが、すぐには避難できない」 26.3%
- ・ 「すぐには避難しない」 15.7%
- ・ 「避難しない」 3.6%
- ・ 「わからない」 9.5%

問 33-1 避難行動を取る情報判断の内容

- ・ 「レベル4「避難指示」が発令されたとき」 29.6% →20歳代以下（48.7%）で特に多い。新居浜・西条圏域が多い。
- ・ 「差し迫った危険を感じたとき」 26.0%
- ・ 「レベル5「緊急安全確保」が発令されたとき」 13.3%
- ・ 「レベル3「高齢者等避難」が発令されたとき」 11.8% →70歳代以上（28.6%）で最多。

問 34 地震に備えた家具類の固定

- ・ 「固定していない」 57.6% →全年齢層及び全圏域で最多。
- ・ 「一部のみ固定している」 33.8%
- ・ 「全部または大部分を固定している」 8.6%

問 34-1 地震に備えた家具類の固定をしていない理由

- ・ 「手間がかかる」 36.5% →全年齢層及び宇和島圏域を除く全圏域で最多。20歳代以下（48.6%）で特に多い。
- ・ 「費用がかかる」 25.0%
- ・ 「固定していなくても大丈夫だと思う」 23.4%
- ・ 「固定をしても被害は出ると思う」 17.7%

【自転車損害保険等の加入】

問 35 自転車損害保険等の加入認知度

- ・ 「知っている」 65.9% →全年齢層で多い。
- ・ 「知らない」 34.1%

問 36 この1年間での自転車利用経験

- ・ 「はい (利用した)」 37.6%
- ・ 「いいえ (利用していない)」 62.4% →全年齢層で多い。

問 36-1 自転車損害保険等の加入

- ・ 「自転車保険等への加入義務化に関係なく加入している (または、保険に加入している自転車を利用している。)」 46.1% →20歳代以下 (63.6%) で特に多い。
- ・ 「自転車保険等に入っていない」 26.5%
- ・ 「自転車保険等に加入しているかどうか、わからない」 14.1%
- ・ 「加入義務化をきっかけに加入した」 11.3%

【新型コロナウイルス感染症】

問 37 新型コロナウイルス感染症の影響

- ・ 「自分や家族・知人が感染するのではないかということ」 76.7% →男女共、全年齢層、全職種及び全圏域で最多。
- ・ 「他県へ行くことや他県から人が来ること」 58.5% →主婦、八幡浜・大洲圏域及び宇和島圏域で多い。
- ・ 「自分から誰かに感染させるのではないかということ」 54.2%
- ・ 「観光・旅行へ行くことや、レジャースポットへ行くこと」 49.8%
- ・ 「経済活動が停滞し、不況になること」 39.3%

問 38 新型コロナウイルス感染症による日常の変化

- ・ 「外出時はマスクを着用する」 98.0% →男女共、全年齢層、全職種及び全圏域で最多。
- ・ 「こまめに手洗いや手指消毒をする」 85.3% →全年齢層で8割超。
- ・ 「混み合う場所へ行くことを避ける」 79.4%
- ・ 「感染が拡大している地域への移動を控える」 74.4%

問 39 新型コロナウイルス感染症対策の情報入手先

- ・ 「テレビ」 91.9% →全年齢層、全職種及び全圏域で最多。
- ・ 「新聞」 43.1% →60歳代以上で特に多い。
- ・ 「県公式 SNS (LINE、Twitter、Facebook)」 15.8%
- ・ 「県のホームページ」 14.8%

【障がい者を理由とする差別】

問 40 障がいのある人への手助け

- ・ 「手助けをしたことがある」 52.0% →全年齢層、全圏域で最多。
- ・ 「困っている方を見たことがない」 30.4%
- ・ 「手助けをしようとしたが、別の方がした等の理由からできなかった」 10.6%
- ・ 「困っている方を見たことはあるが、手助けをしなかった」 7.0%

問 40-1 障がいのある人への差別や偏見の有無

- ・ 「あると思う」 52.3% →全年齢層、全職種及び全圏域で最多。
- ・ 「ないと思う」 28.7%
- ・ 「わからない」 19.0%

問 40-2 障害者差別解消法の認知度

- ・ 「障害者差別解消法を知っており、改正されたことも知っている」 6.9%
- ・ 「障害者差別解消法は知っているが、改正されたことは知らない」 19.3%
- ・ 「障害者差別解消法を知らない」 73.8% →全年齢層、全職種及び全圏域で最多。

【ねんりんピック愛顔のえひめ2023】

問 41 ねんりんピックの認知度

- ・ 「参加したことがある」 0.3%
- ・ 「聞いたことはある」 26.9% →70歳代以上で多い。
- ・ 「知らない」 72.8%

問 41-1 ねんりんピック開催の認知度

- ・ 「知っている」 4.4%
- ・ 「知らない」 95.6%